



～石炭運搬と住民生活を支えた駅舎～

唐松駅は、1929（昭和4）年に住友唐松炭鉱の石炭を搬出するための貨物駅として開駅し、1930（昭和5）年に一般運送営業を開始し、当時の駅舎建築面積は66㎡（うち待合室は30㎡）でした。

1934（昭和9）年の新幌内砒出炭開始によって、貨物や駅勢圏住民が急増したことから、1937（昭和12）年に駅舎増築を請願し、1941（昭和16）年に増築が実現しました。その後、1957（昭和32）年に、さらに増築されました。

待合室部分と駅事務室部分が直交し組み合わせられた独特な形態が特徴的です。駅舎に隣接してホームと便所、構内跡地には住友唐松炭鉱のホッパー（貯炭槽）の基礎であったコンクリートが残っています。

住所 〒068-2135 三笠市唐松町1丁目

公開状況 見学可能

アクセス（自動車） 札幌から約51km 約36分
【道央自動車道 三笠IC降 約分10】

アクセス（公共交通機関） 札幌から約1時間18分
JR函館本線 岩見沢駅降車～中央バス 唐松1丁目バス停降車

問い合わせ 三笠ジオパーク推進協議会
電話：01267-2-3997 メール：mikasa.geopark@gmail.com

URL <http://www.city.mikasa.hokkaido.jp/geopark/>